

サル対策について

1 サルについての知識をつける

サルがどういう動物かを知り、知識をつけましょう。

2 サルに狙われない集落環境づくり

エサが少なく、進入しづらいところはサルも興味をなくします。

3 サルを追い払う

柵を作ったからといって急に被害が無くなるわけではありません。
侵入に手間取っているうちに、追い払いを行いましょう。

4 わなや猟銃による駆除など

わなや猟銃による駆除です。

しかし、民家周辺での猟銃の使用には安全上の問題があります。

1、2をせずに3、4ばかりを行おうとすると、効果が上がりません。

1、2は防火、3は初期消火、4は、消防による消火活動と同じです。

サルの被害を減らすためには時間が掛かります。

途中で息切れしないためにも、できることから着実に始めましょう。

1 サルについての知識をつける

サルの行動

早朝と夕方が採食のピークで、日の出から日没までの明るい時間だけ活発に活動し、夜間は活動しません。高い学習能力を持ち、集落内の食べられるものを覚えていきます。

人なれレベル

- I 人の姿を見れば逃げる。
- II 人の姿を見ても採食し続け、追わないと逃げなくなる。
- III 山林から離れて、人前に姿をさらしても堂々としている。追われても一気に逃げず、食害が続く。
- IV 人家周辺を徘徊するようになり、簡単には逃げない。人を威嚇する場合も出てくる。
- V 人家や商店などの食物も荒らすようになる。道路上などで人にエサをねだるようにある。噛み付いたり引っかいたりする人身事故が発生する。

放置しておく、どんどん進行します

2 サルに狙われない集落環境づくり

エサになるものを野外に置かない

サルはいつでもエサを狙っています。軒先など屋外にはエサとなるような農作物を保管しないでください。収穫されない野菜や、お墓のお供え物などもエサにします。

集落全体でサルのエサを減らしましょう。サルにとって集落の「エサ場」としての魅力ができるだけ下げることが重要です。

畑荒らしを覚えた群れは、山の群れよりも栄養状態が良くなるため、山の群れより出産の回数が増え、サルの数が増えはじめます。

群れの中で畑のエサで育ったサルが多数を占めるようになると、山で生活することが困難になり、やがては家屋内の食物や、人が持っている食物まで奪うようになります。

家や畑の周りの見通しを良くする

サルは森で生活する動物なので、見通しが良いひらけた場所を警戒します。藪や草が茂っている場所はサルの隠れ場所になるので、きれいに切り払って見通しを良くしましょう。

柵を作ってサルが侵入しづらくする

畑や家庭菜園の周りに柵を作るのも有効です。仮に侵入を防げなくても、侵入するのに時間が掛かれば、サルはそれだけで嫌がります。柵は、侵入防止ではなく、侵入を手間取らせる障害物という考え方で、サルが手間取っている間に追い払いをすることが重要です。

サル目から食べ物を隠す

柵を作るのと合わせて、サル目から食べ物を隠しましょう。サルはトウガラシ、コンニャク、シソ、ゴボウ、ショウガ、ワラビなど、辛味や香り、アクの強い植物を嫌がります。守りたい野菜の周りに、サルが嫌がる野菜や背の高い観賞用の花を植えて、サルの興味をそらすと効果的です。

3 サルを追い払う

サルが出たときの対処

サルは記憶力が非常に良い動物です。エサの位置をしっかりと覚えます。また、威嚇をしてこない怖くない人間も覚えます。一度エサがあり、安全だと覚えてしまうと、対策が非常に難しくなります。サルが出たときには必ずみんなで徹底して追い払い、人に慣れさせないようにしましょう。

その代わりに、サルは一度味わった恐怖や痛みは忘れません。そのような場所や状況は覚えて避けるようになります。サルの唯一の天敵は人間です。侵入したところを脅かされるなど、怖い目にあう集落は次第に避けるようになります。追い払いなどの威嚇する行為は、あきらめずに根気よく進めることが必要です。

追い払い方

爆竹やロケット花火は大きな音が鳴るため有効です（枯れ草等に燃え移らないように注意）。サルにとって人間は天敵なので、多くの人が出てくればそれだけで威嚇になります。パチンコやエアガン等も効果的です。

大切なのはサルに敵意を示すことです。石を投げる、大声で脅かす等、自分ができる方法で追い払いましょう。一人よりもできるだけたくさんの人を集めて、複数でしつこく追い払うのが効果的です。

ただし、無理は禁物です。サルが威嚇してきて怖いと感じた場合、お年寄りや女性、子ども一人だけなど、サルが怖がらないことが予想される場合には、無理をせずその場から離れましょう。目を合わせると敵意と捉えることがあるので、目を合わせずに刺激しないよう遠ざかりましょう。

対策は合わせ技で、みんなで作る

柵を作っただけで追い払いをしなければ、サルは柵に慣れて簡単に侵入するようになります。柵を作って、追い払いもしても、収穫されない野菜や捨てられた野菜くずなどエサとなるものが残っていれば、サルを呼び寄せてしまいます。また、これらの対策を一人だけが行っても、サルは他の畑や家を狙って結局人里に出てきます。

サル対策は、どれか一つの対策を一人だけがやれば被害が無くなるというものではありません。えさ場をなくす、障害物を増やす、追い払うといった様々な対策を並行して、一人ではなく地域のみみんなで連携して、できることから着実にやってこそ効果が表れます。みんな協力して対策に取り組みましょう。

【問い合わせ先】

廿日市市役所 農林水産課 林業振興係

電話:0829-30-9148 (直通) FAX:0829-31-0999